

県内有床医療機関への アンケート結果

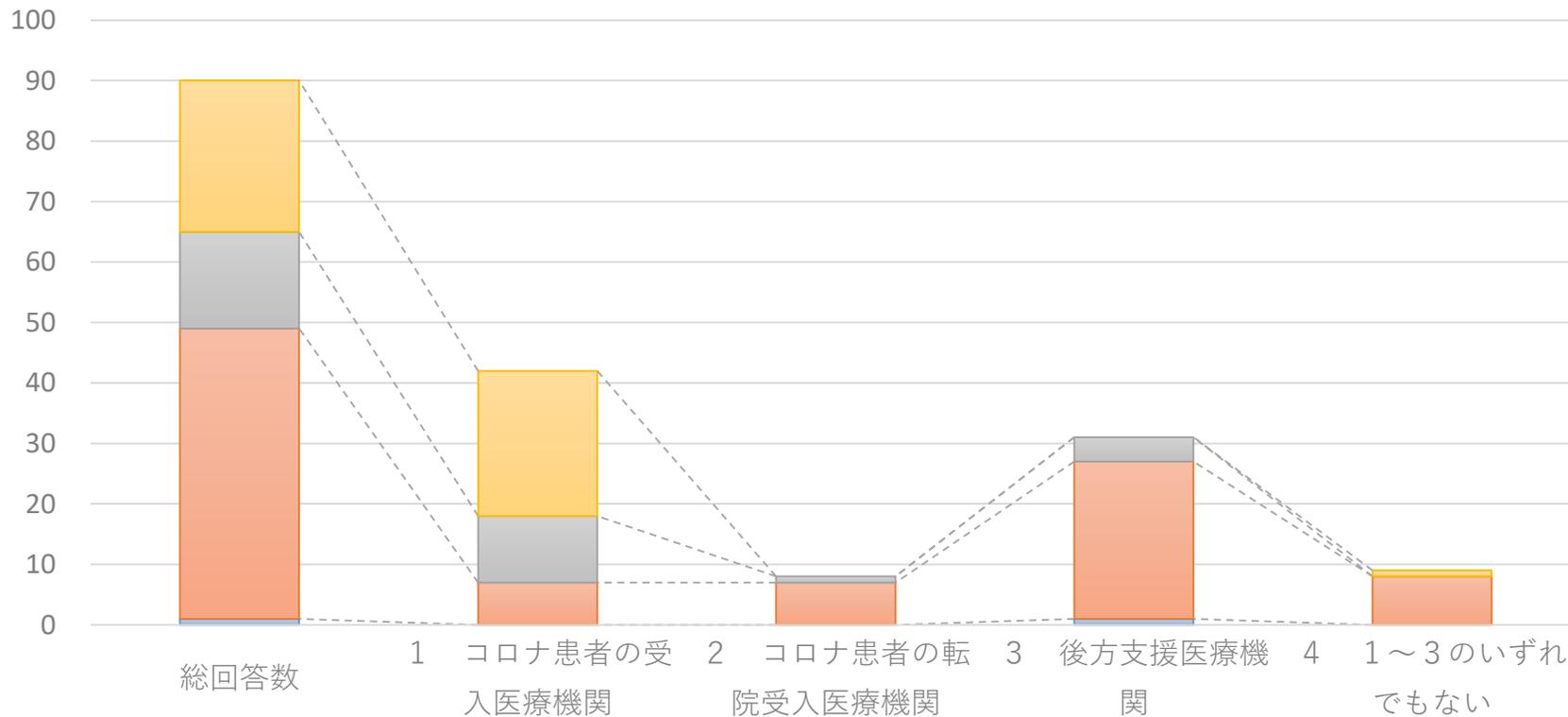
愛知県感染症対策課体制整備グループ

アンケート概要

- 対象：愛知県内の有床医療機関
(病院**317**施設、有床診療所**271**施設※)
- 回答期間：令和5年2月**17**日(金)～3月3日(金)
- 有効回答数：79

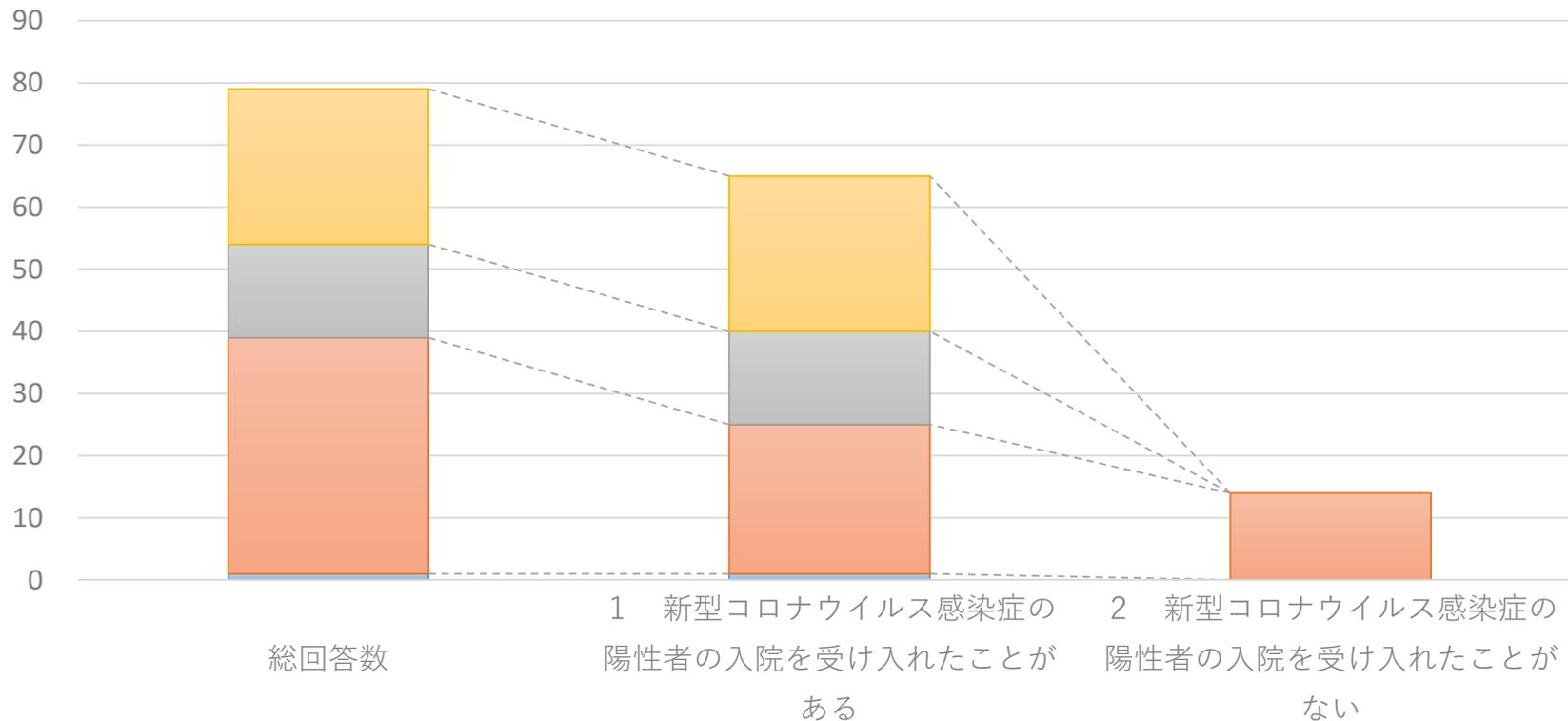
※令和4年10月1日現在の愛知県内の施設数

アンケート回答施設の内訳（複数回答可）



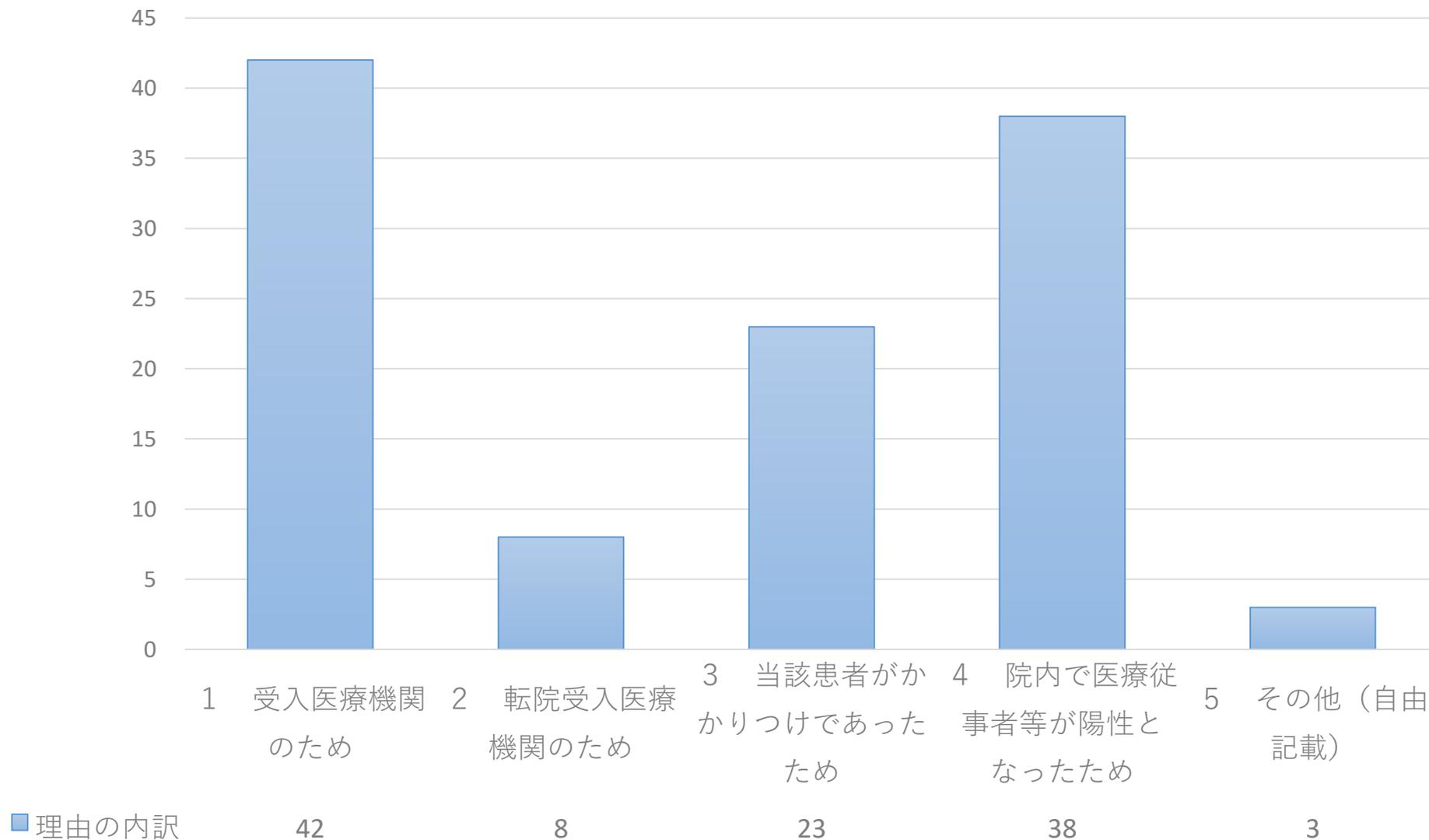
施設規模	総回答数	1 コロナ患者の受入医療機関	2 コロナ患者の転院受入医療機関	3 後方支援医療機関	4 1～3のいずれでもない
4 400床以上	25	24	0	0	1
3 200～399床	16	11	1	4	0
2 20～199床	48	7	7	26	8
1 1～19床	1	0	0	1	0

第8波（令和4年11月1日）以降、貴院で新型コロナウイルス感染症の陽性者を受け入れたことはありますか。



■ 4	400床以上	25	25	0
■ 3	200~399床	15	15	0
■ 2	20~199床	38	24	14
■ 1	1~19床	1	1	0

新型コロナウイルス感染症の陽性者の入院を受け入れたことがある、と回答された医療機関のうち、入院を受け入れた理由（複数回答可）

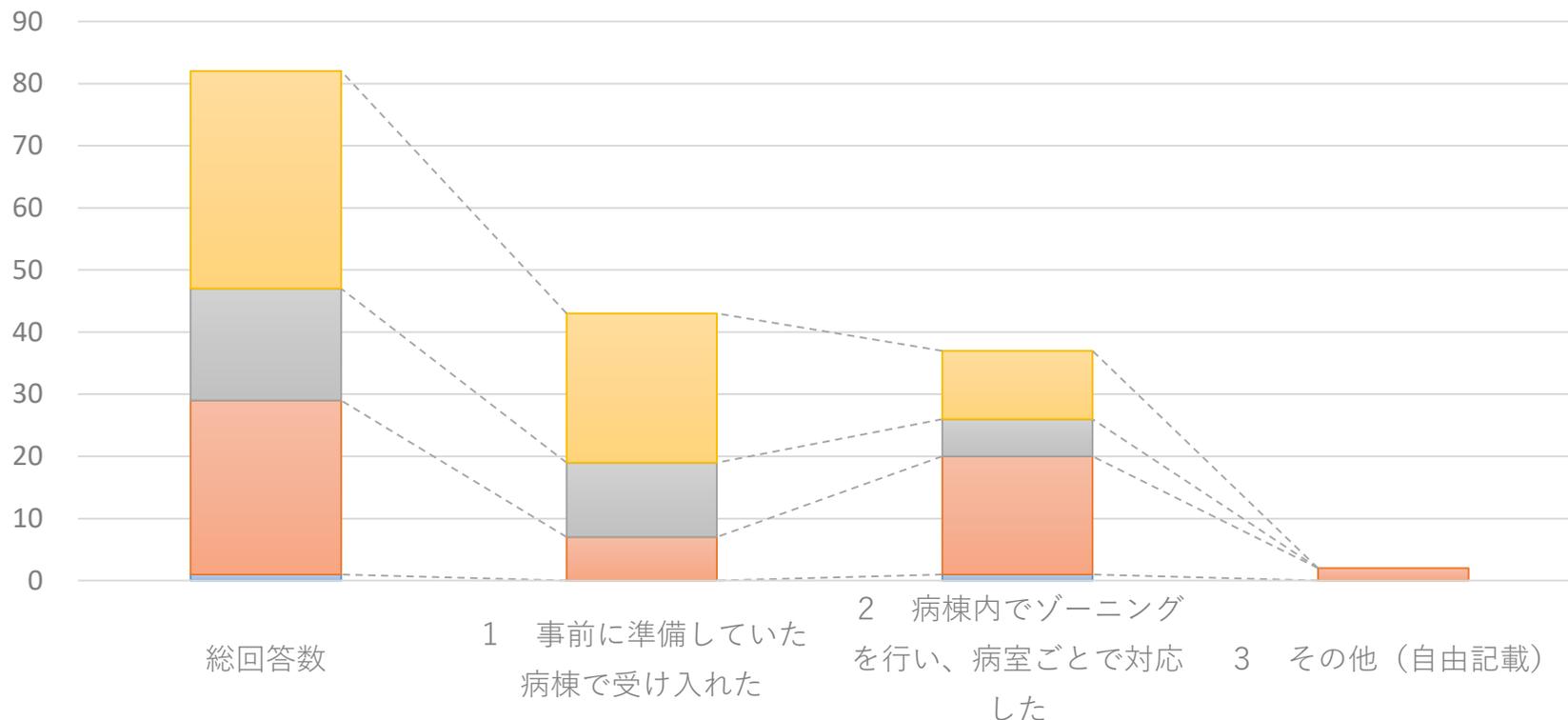


新型コロナウイルス感染症の陽性者の入院を受け入れたことがある、と回答された医療機関のうち、入院を受け入れた理由（複数回答可）

<その他（自由記載欄）の内容>

- 他疾患による入院受け入れ時または入院後に陽性となる
- 入院目的で紹介された患者が陽性であったため
- クラスターになってしまったため治療を行った。

新型コロナウイルス感染症の陽性者の入院を受け入れたことがある、と回答された医療機関のうち、入院の受け入れの際の状況について、どのように対応したか。（複数回答可）



床数	総回答数	1 事前に準備していた病棟で受け入れた	2 病棟内でゾーニングを行い、病室ごとに対応した	3 その他（自由記載）
4 400床以上	35	24	11	0
3 200~399床	18	12	6	0
2 20~199床	28	7	19	2
1 1~19床	1	0	1	0

新型コロナウイルス感染症の陽性者の入院を受け入れたことがある、と回答された医療機関のうち、入院の受け入れの際の状況について、どのように対応したか。（複数回答可）

<その他（自由記載欄）の内容>

- トイレ・洗面があって換気の良い個室を感染対応室として使用。
- 新型コロナ専門病院であるため、新型コロナウイルス感染症の陽性者のみ入院を受け入れている。

新型コロナウイルス感染症の陽性者の入院を受け入れたことがある、と回答された医療機関のうち、入院の受入れの際に、苦慮したこと、工夫したこと

以下、一部抜粋しています。

< 苦慮した点 >

- 小児や妊婦など専門性の高い陽性患者の受入体制作りにも苦慮した。
- 建物の構造上、十分な換気やゾーニングができず大規模な感染症には対応できない状態であったため、新型コロナウイルス感染症の入院は受け入れを行ってきませんでした。が、その結果として感染対策における知識や経験値が不足していた可能性が高く、院内でクラスターが発生し急を迫る状況に陥ってから改めて周知徹底させる点において苦慮しました。

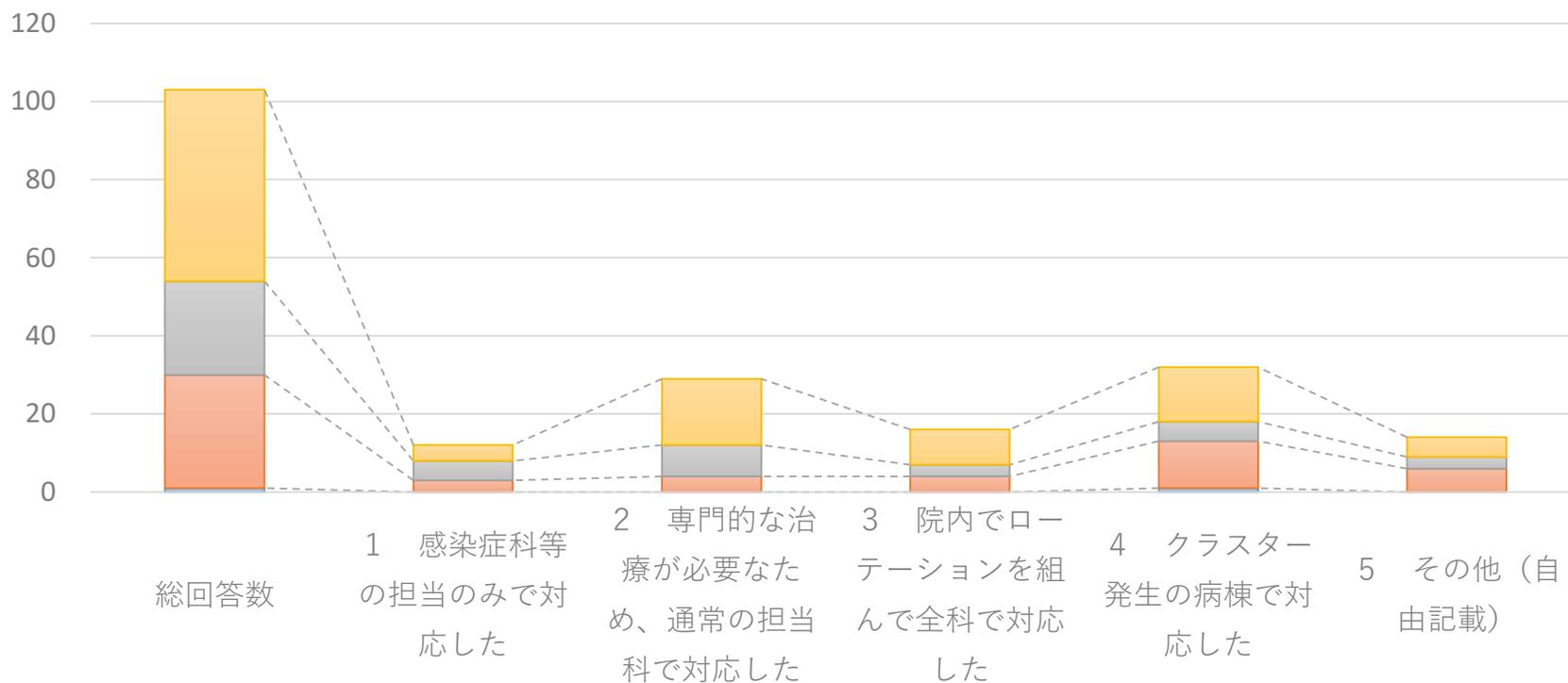
新型コロナウイルス感染症の陽性者の入院を受け入れたことがある、と回答された医療機関のうち、入院の受入れの際に、苦慮したこと、工夫したこと

以下、一部抜粋しています。

<工夫した点>

- 当院では、専門病棟で受け入れていたが、小児病棟や婦人科病棟の看護師も専門病棟に臨時で組み入れて対応した。
- 確保病床の部屋の窓に換気扇を取り付け、独立換気に近い状態が維持できるようにした。
- 陽性患者病室は極力病棟内でも隅に設置しその隣部屋は緩衝エリアとして空けるなどした。その場合職員も担当制とし業務を分ける。

新型コロナウイルス感染症の陽性者の入院を受け入れたことがある、と回答された医療機関のうち、対応した診療科は、次のいずれに該当しますか。（複数回答可）



■ 4	400床以上	49	4	17	9	14	5
■ 3	200～399床	24	5	8	3	5	3
■ 2	20～199床	29	3	4	4	12	6
■ 1	1～19床	1	0	0	0	1	0

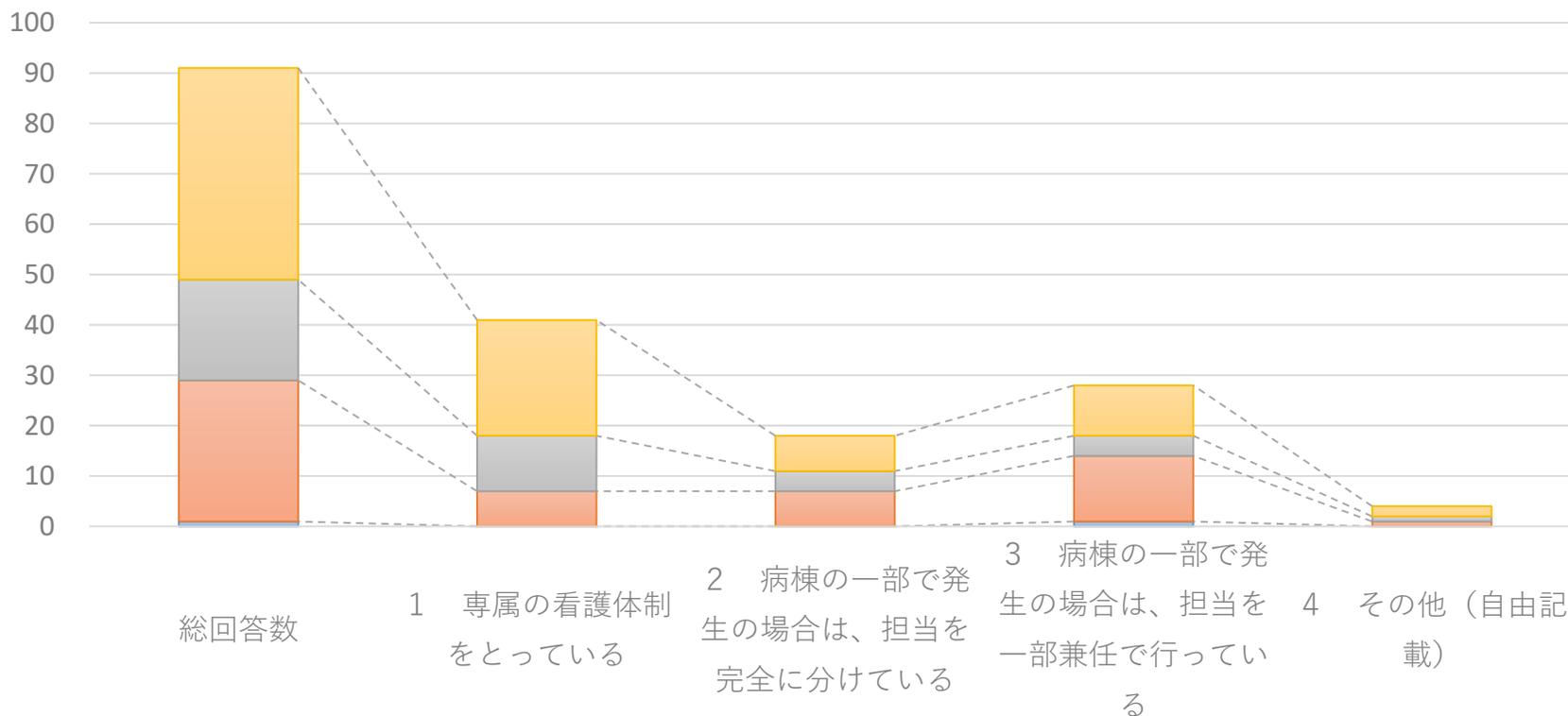
新型コロナウイルス感染症の陽性者の入院を受け入れたことがある、と回答された医療機関のうち、対応した診療科は、次のいずれに該当しますか。（複数回答可）

<その他（自由記載）>

以下、一部抜粋しています。

- 感染症科がないため、当初は呼吸器疾患として呼吸器内科が担当し、疾患に応じて産婦人科や腎臓内科等も担当し、患者数増加に応じて全科での対応とするなど、流行状況に応じて対応を変化させた。
- ICUでは内科系、外科系医師でローテーションを組んで、救急科の集中治療の診療支援を行った。軽症-中等症では、呼吸器内科のバックアップのもと各診療科が主治医となって診療を行った。

新型コロナウイルス感染症の陽性者の入院を受け入れたことがある、と回答された医療機関のうち、看護体制について、次のいずれに該当しますか。（複数回答可）



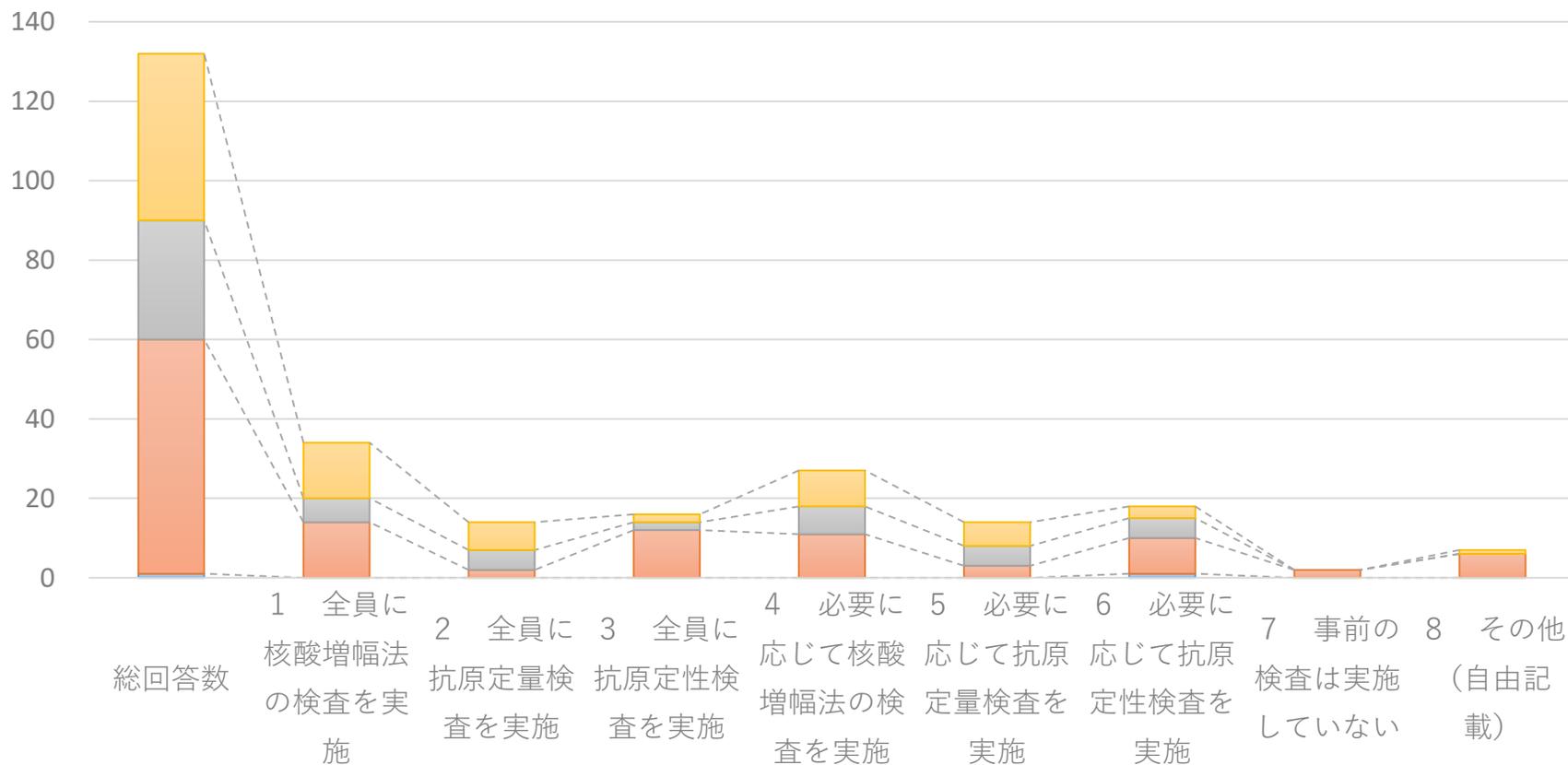
■ 4	400床以上	42	23	7	10	2
■ 3	200~399床	20	11	4	4	1
■ 2	20~199床	28	7	7	13	1
■ 1	1~19床	1	0	0	1	0

新型コロナウイルス感染症の陽性者の入院を受け入れたことがある、と回答された医療機関のうち、看護体制について、次のいずれに該当しますか。（複数回答可）

<その他（自由記載）>

- 院内発生が一定期間内に複数の病棟で発生した場合は、専用病床だけでは対応できず、発生病棟の個室で管理していた。その際、看護師は陽性者とその他の患者を分けて担当した。
- 担当者を各病棟選出して出向して勤務している。
- コロナ専用病棟では専属の看護体制となっている。一般病棟でクラスターが発生したような場合は、なるべく担当を分けるようにはしてもらってはいるが、状況によって兼任する場合もある。

入院や種々の検査の前に、新型コロナウイルス感染症の検査を実施していますか。（複数回答可）



床数	検査実施方法	総回答数	1 全員に核酸増幅法の検査を実施	2 全員に抗原定量検査を実施	3 全員に抗原定性検査を実施	4 必要に応じて核酸増幅法の検査を実施	5 必要に応じて抗原定量検査を実施	6 必要に応じて抗原定性検査を実施	7 事前の検査は実施していない	8 その他（自由記載）
4 400床以上		42	14	7	2	9	6	3	0	1
3 200～399床		30	6	5	2	7	5	5	0	0
2 20～199床		59	14	2	12	11	3	9	2	6
1 1～19床		1	0	0	0	0	0	1	0	0

入院や種々の検査の前に、新型コロナウイルス感染症の検査を実施していますか。（複数回答可）

<その他（自由記載）>

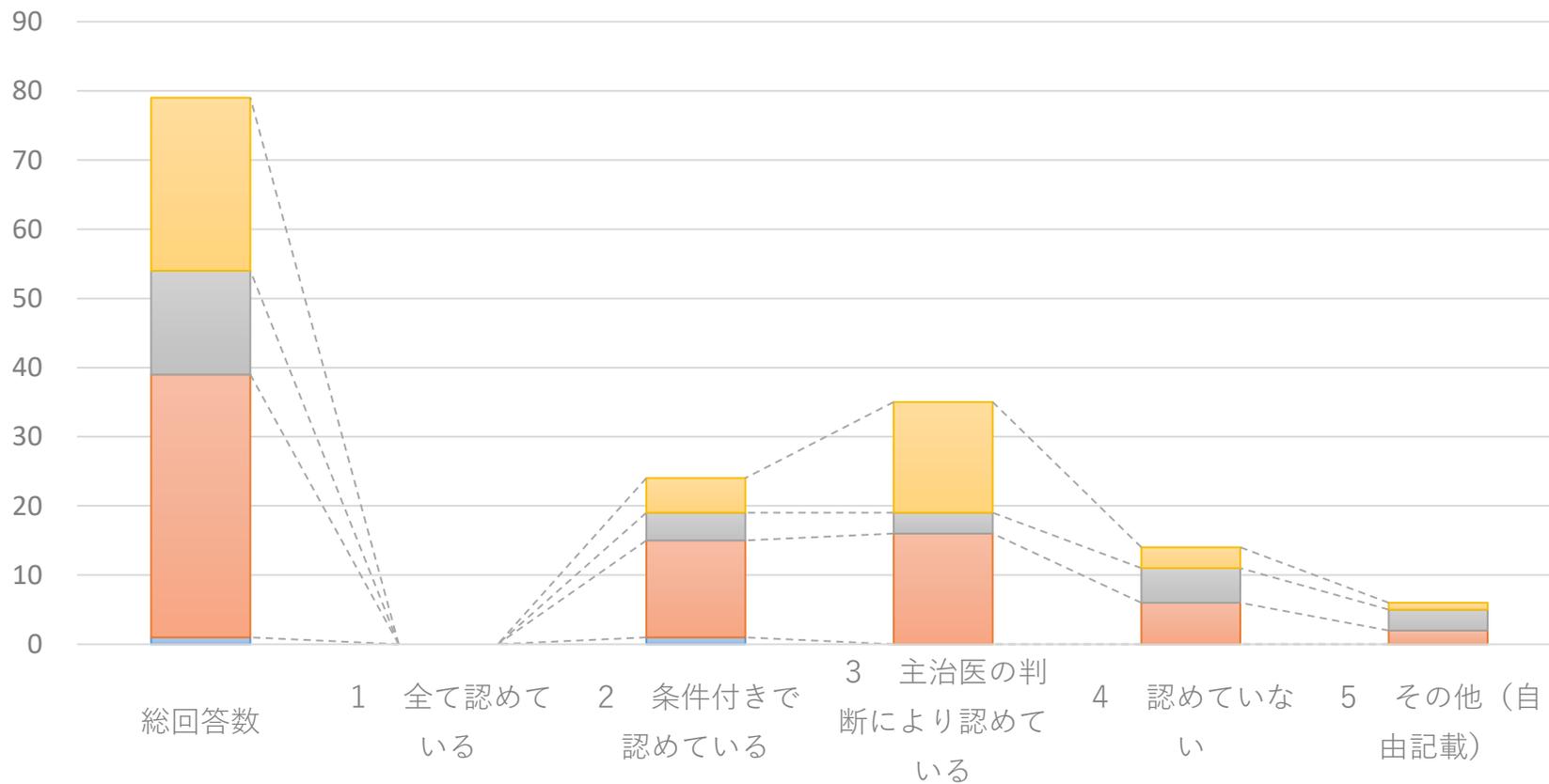
- 原則、入院患者全員にPCR検査を行っているが、入院時にコロナ感染後6週間を経過していない場合は、PCR検査は行っていない
- 入院付添希望者にもPCR検査を実施している
- PCRか抗原かは主治医の判断にて。
- 新型コロナウイルス感染症の陽性判定を受けた人の入院受け入れを行っているため、当院として事前の検査は実施していない。
- 入院時に発熱や体調不良が認められる場合、抗原検査を実施。
- このアンケートに記載する時点では、抗原定量検査で入院患者全員をスクリーニングしている。市中の流行が落ち着いてきたところで、入院時スクリーニングの対象を絞り込む予定。判断に迷う場合は、抗原定量にPCRも追加して検査を行う場合もある。
- PCR若しくは抗原定性を実施

「必要に応じて検査を実施している」と回答された医療機関のうち、その具体的な例。

以下、一部抜粋しています。

- 入院される方には入院前3日分の朝晩の検温記録提出をお願いしている。検温記録を忘れた方や、緊急入院患者を対象に抗原定性検査を実施。
- コロナ禍初期はPCR検査で開始していたが、2022年11月初旬よりスクリーニングを抗原定量検査に変更した。他院からの要望（転院時など）や抗原定量検査で「判定保留」と結果が出て、かつ翌日の再検では間に合わない事例は、PCR検査を実施している。2023年3月1日から無症状者の入院時スクリーニング検査は中止する予定である。

現状、患者への面会を認めているか。



病院規模	総回答数	1 全て認めている	2 条件付きで認めている	3 主治医の判断により認めている	4 認めていない	5 その他（自由記載）
4 400床以上	25	0	5	16	3	1
3 200～399床	15	0	4	3	5	3
2 20～199床	38	0	14	16	6	2
1 1～19床	1	0	1	0	0	0

現状、患者への面会を認めているか。

<人数制限、時間制限等の条件の内容>

以下、一部抜粋しています。

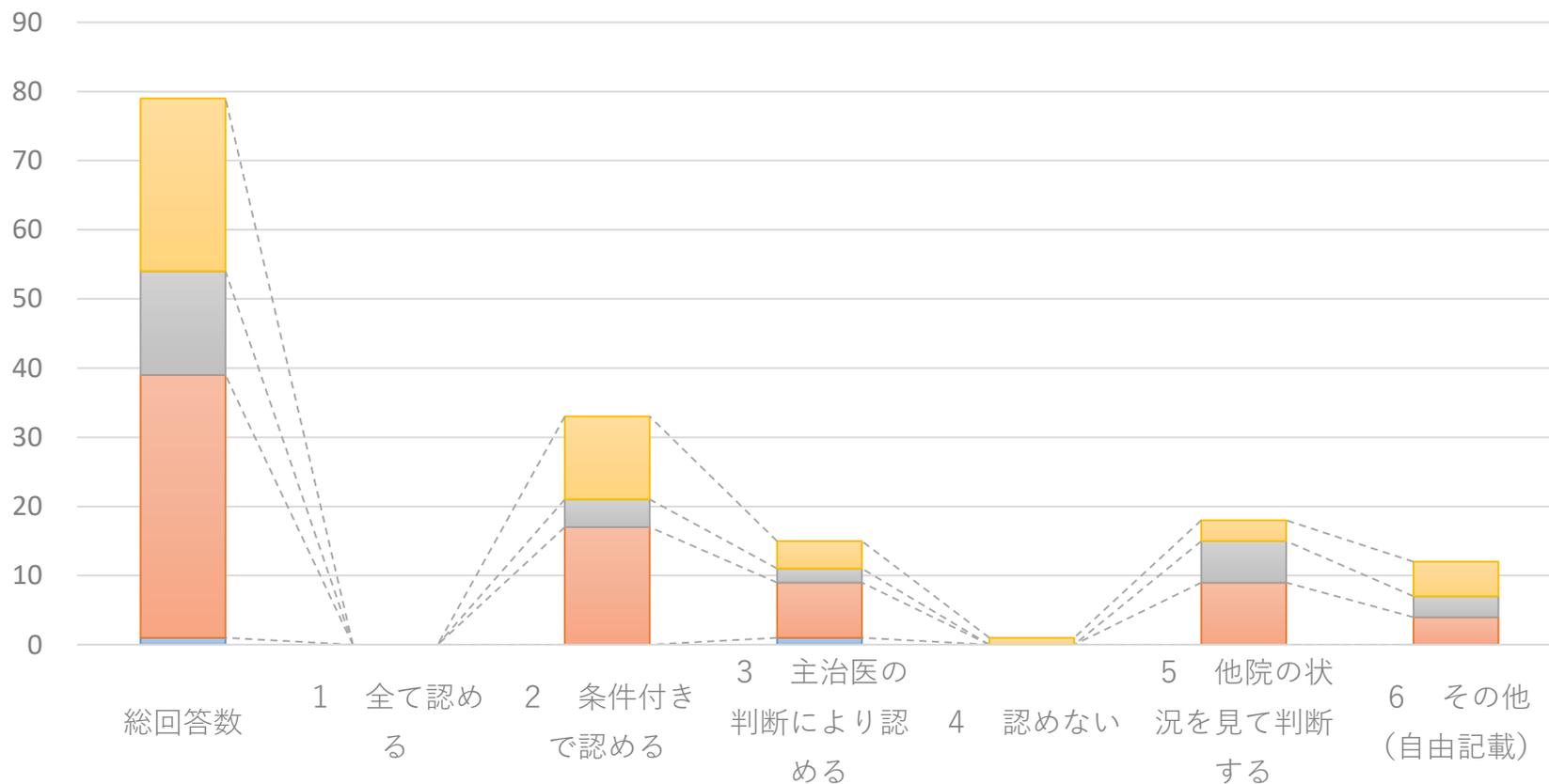
- 2人以内・10分以内・体温測定・ワクチン2回接種・マスク着用・手指消毒
- 治療（手術・検査）や病状・退院調整等に関する説明のための来院、終末期等医師の許可のある家族、いずれも病室への入室は2名まで、1日1回15分
- オンライン面会を主体で使用し、危篤にある患者様の面会などは主治医の判断で個別的に判断を行っている。

現状、患者への面会を認めているか。

<その他（自由記載）>

- 原則、面会禁止であるが、臨終時や面会が患者の回復によい影響をもたらす可能性が大きい場合などは、医師の判断で時間と面会方法を検討し、一部許可している。
- オンライン面会。
- 原則は禁止だが、主治医の判断で可能な部分も残している。
- 看取りの場合、主治医の判断により認めている（少人数で短時間）。
- 分娩時の立ち会いは夫に限り認めている。通常の面会は不可。
- Lineによる面談。

今後、面会について認める方針か。



■ 4	400床以上	25	0	12	4	1	3	5
■ 3	200~399床	15	0	4	2	0	6	3
■ 2	20~199床	38	0	17	8	0	9	4
■ 1	1~19床	1	0	0	1	0	0	0

今後、面会について認める方針か。

<人数制限、時間制限等の条件の内容>

以下、一部抜粋しています。

- 20分以内、4人部屋入院患者は面談室に移動して面会
- 疾患の内容等に応じて診療科（病棟）毎に面会を制限する
- 条件については今後検討する。
- 感染状況で順次緩和していく予定。

今後、面会について認める方針か。

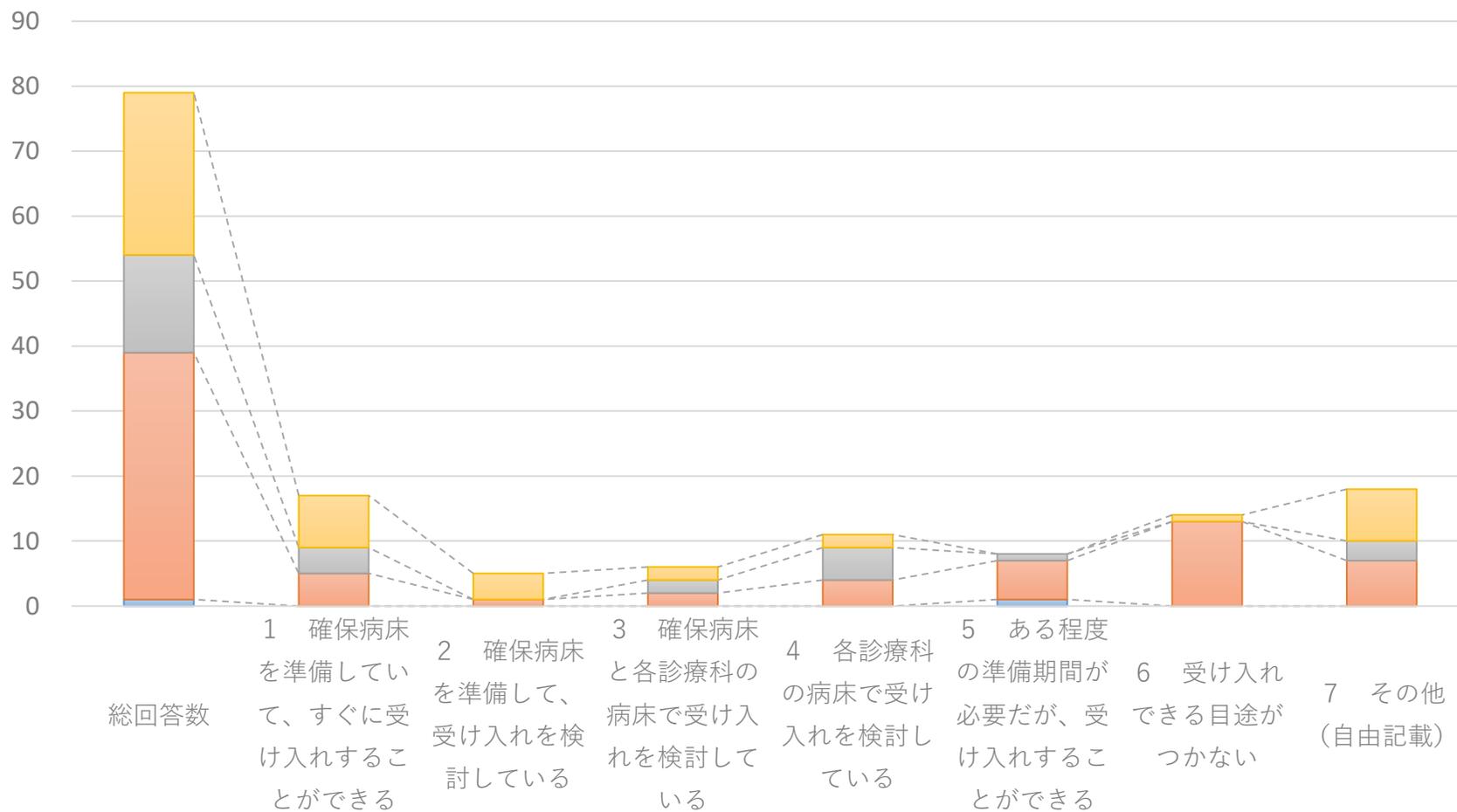
<その他（自由記載）>

以下、一部抜粋しています。

- 検討中。最終的にはコロナ前の条件（面会者は面会前に感染症の症状の有無を自己申告し、もし症状があれば面会はご遠慮いただく。中学生未満の子供は面会禁止）に戻るのではないかと考える。
- 院内フェーズにあわせ対応する

令和5年5月8日以降
の対応について

入院の受け入れについて、次のいずれに該当しますか。



■ 4	400床以上	25	8	4	2	2	0	1	8
■ 3	200～399床	15	4	0	2	5	1	0	3
■ 2	20～199床	38	5	1	2	4	6	13	7
■ 1	1～19床	1	0	0	0	0	1	0	0

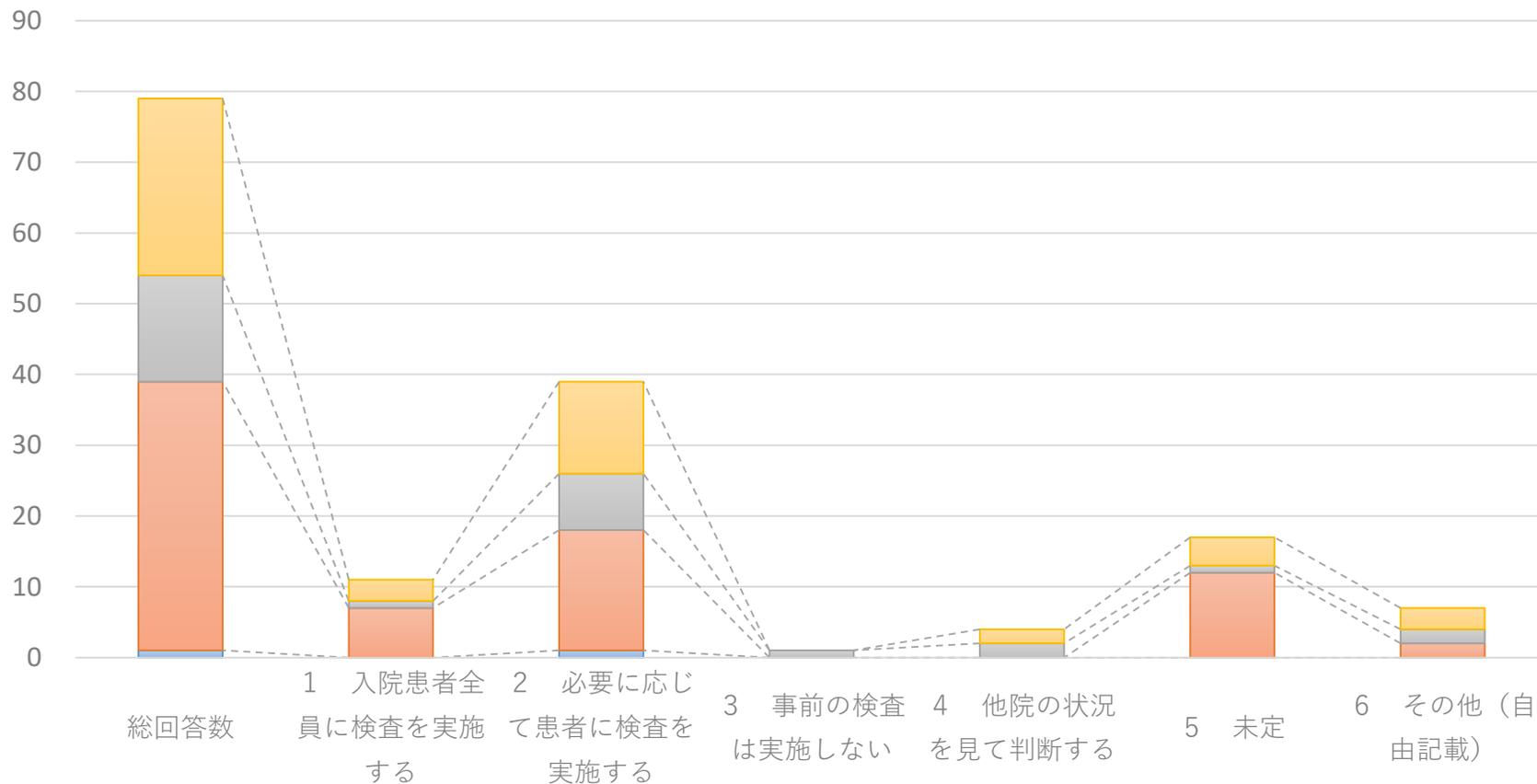
入院の受け入れについて、次のいずれに該当しますか。

<その他（自由記載）>

以下、一部抜粋しています。

- 必要があれば病床を確保するが、確保病床の必要がなければ、各診療科の病室で受け入れる。
- 病床は確保しないが、陽性者の受入れZoneは決めておく予定

新型コロナウイルス感染症以外の理由で患者が入院する前に、新型コロナウイルス感染症の検査を実施する予定ですか。



■ 4	400床以上	25	3	13	0	2	4	3
■ 3	200～399床	15	1	8	1	2	1	2
■ 2	20～199床	38	7	17	0	0	12	2
■ 1	1～19床	1	0	1	0	0	0	0

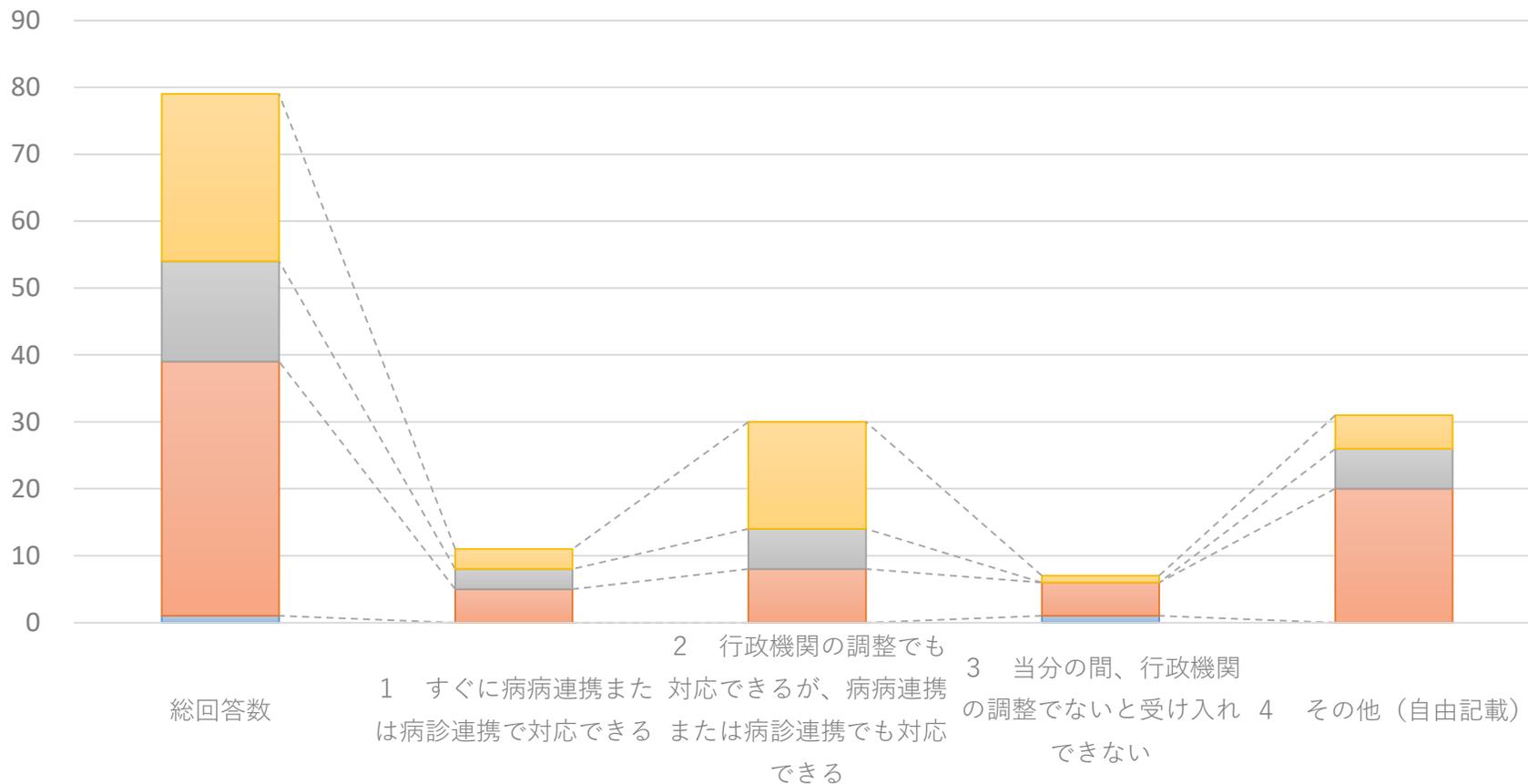
新型コロナウイルス感染症以外の理由で患者が入院する前に、新型コロナウイルス感染症の検査を実施する予定ですか。

<その他（自由記載）>

以下、一部抜粋しています。

- 検討中。市中の感染の状況、変異株の流行状況などで入院時のスクリーニングを行うか、対象をどうするかを検討する。

新型コロナウイルス感染症陽性者の転院の受け入れについて、以下のどれに該当しますか。



床数	総回答数	1	2	3	4
4 400床以上	25	0	3	16	5
3 200～399床	15	0	3	6	6
2 20～199床	38	0	5	8	20
1 1～19床	1	1	0	0	0

新型コロナウイルス感染症陽性者の転院の受け入れについて、以下のどれに該当しますか。

<その他（自由記載）>

以下、一部抜粋しています。

- COVID-19という理由だけでは転院を受け入れない予定である。専門的な加療が必要となる場合は検討し、専門的な加療が不要となれば速やかに隔離期間にかかわらずお戻りする約束とする予定である。これは、インフルエンザと同様の扱いでもあり、COVID-19という理由だけで診たくないから押しつけるというような体制をとる施設を減らすためでもある。5類とは「COVID-19」を普通の病気にする。」という意味であると解釈している。
- 現時点では新型コロナウイルス感染症陽性患者の受入れは不可ですが、5類以降においては受入可能な場合は、病病連携や病診連携経由で対応が可

「3 当分の間、行政機関の調整でないと受け入れできない」と回答した医療機関のうち、その回答理由は何ですか。

以下、一部抜粋しています。

- 人員体制など、ハード面の調整が必要。
- 元々受け入れ病棟を有さず、常用する感染対策が不十分である為。
- 免疫力が低い高齢者が多いため、受け入れたことにより増えるリスクの危険性が高いと判断しました。また、現場での体制整備をしていないため。

新型コロナウイルス感染症を5類感染症として診療いただくための、
経験談、御助言、御意見等

以下、一部抜粋しています。

- 「新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行した後、どんなに予防対策を取っても罹患することが有り得る」ことを世間一般の方に広く納得いただく必要があります。
- インフルエンザと同様の扱いを行う予定。
- オミクロン株の流行以降は軽症者が多くを占め、コロナ感染症を診療するための特定の医療機関、特定の病床は徐々に解消すべきである。